

入選

金子 佳純 (かねこ かすみ) 散田小 4年生

作品名：「うさぎのユックが教えてくれたこと」

図 書：うさぎのユック

色とりどりの花が咲いている草むらの中に一匹の白いうさぎが立っている表紙の絵。うさぎの左の耳には金色の星がかがやいています。いったいどんな運命を背負ったうさぎなのか、私はきょうみをもちました。

「うさぎのユック」は、うすい絵本だけれど、私はすぐに読み終わることができませんでした。そのくらい読みごたえのある重くて美しい物語です。

私は読み終わった時、むねがジーンと熱くなりました。ユックに勇気と生きる意味の大切さを教えられたからです。

ユックはうさぎの五人兄弟です。生まれつき心ぞうが弱く、後ろの両足が動きません。ずっと家の中でくらしていましたが、兄弟たちに助けられながらトレーニングで前足を強くして外に出ることができるようになりました。ユックはかしこくてやさしい五人兄弟のリーダーとしてがんばって生きていました。

五匹の兄弟が森の中でライオンに出会った場面ではハラハラしました。白いうさぎ五匹が連なって一匹の白い大きなヘビに見せてライオンをおどろかすなんて、何て大たんで危険な方法なんだろうと思いました。そして先頭で一番高くジャンプしたユックの心ぞうが止まってしまった時は思わずなみだが出ました。

もし、私がユックの立場だったらこわくてにげ出していたと思います。自分が死ぬかもしれないし、兄弟がころされるのも絶対に見たくないからです。ユックはとても勇気があります。後ろ足が動かない自分が一番先にくるられるかもしれないのに。

「勇気」は、自分一人ではできなさそうなこともできるようになってしまおう『まほうの力』なのかもしれないなと私は思いました。

ライオンと戦うことを最初こわがっていた兄弟たちも、ユックの勇気を見ていっしょに戦う気持ちがわき、兄弟で心をつなげて「白ヘビユック号」になることができました。

だれかの勇気を見た時、その勇気が自分の心にもうつったような気がする経験が私にもあります。

私は泳ぐことがとても苦手です。でも、水泳の授業で同じように泳ぐことが苦手な子ががんばって練習するすがたを見ると「私もがんばろう！」という気持ちになってきれいな飛びこみも勇気を出してチャレンジすることがで

きました。そして、今までできなかったことが不思議とどんどんできるようになるのです。その子の勇気を見なかったらできないままだったかもしれせん。

絵本の中にすてきなユックの言葉が出てきます。

「絶対全員で助かるんだ。」とあきらめなかったから今日がある。みんなで生きられることを信じたから今日がある。

例え辛いことや苦しいことがあっても必ず乗り越えられると信じて勇気を出すこと。そして一人の勇気は別の勇気をよんで、もっと大きな力になるということ。私はユックに教えられたことを自分のむねに大事にしまっておきたいと思いました。